

## 日本発ドイツ便り : Starnbergersee (後篇)



船の旅は続きます。ところで、船の売店は、なかなか充実していて、ビールにコーヒー、ソフトドリンクからお菓子にパンまで色々。日本の場合、こういうところで買うとなんだか高かったりしますが、ドイツでは街の中で買うのと大して変わらないです。



照りつける太陽のもと、ひんやりと心地よい風に吹かれつつかじる Brezel (ブレーツェル) は格別です。ちなみに1ユーロでした。バイエルンでは、Breze (ブレーツェ) ともいいます。いつ食べても美味しい Brezel ですが、焼き立てはホントに最高です！私は塩を外して食べますが、ビールのお伴には塩が付いた状態の方が合うかもしれません。

あ、脱線しました。Starnbergersee でした。

昔からの避暑地、保養地ですが、湖畔にはお城や豪邸がポツリポツリと見えます。(あれは歌手の〇〇さんの別荘…。あのお城は国が管理していて、見学できます。なんて説明はあるのですか、その場で「ほほお」と思っても覚えてないです☺)



□の所。森の中のお城があるのが分かりますか？  
あのお城にはどうやったら行けるんでしょう？☺



これもどこかのお城みたいです。湖面に映る景色も良いですね。



Tutzing (ツッチング) の街。ミュンヘンから沢山の路線がある S-Bahn の終点の一つです。



ここの停泊所には魚売り場がありました。この湖でどんな魚が獲れるんでしょうね？

湖の最南端の Seehaupt (ゼーハウプト) に近付くと見えてきた風景。最初は目の錯覚かと思いました。



うっすらと遠くに見ているのは、まだ頂上に雪が残ったドイツアルプス。



感動ものの絶景でした。一番高く見えるのがドイツの最高峰 Zugspitze（ツークシュピッツェ：2962メートル）でしょうか。でも、考えてみれば、そりゃそうですよね。この Starnbergersee はアルプスの氷河から出来た湖ですもん。◎それにしても、景色を邪魔するものが一つもないのも素敵ですねえ。



可愛らしいポートハウス



どこまでが水？どこまでが空？  
船が進むと、静かな水面が動きます。



なんだか気に入ってしまった風景



ブルーと白が Bayem の色になったのは、こんな  
風景があったから？



湖畔にあった良い感じのレストラン。



船が動かす水が、なんだか生きものみたいです。



景色も見ず、おしゃべりに熱中の人。日光浴しながら読書の人、景色眺めるのに熱心な人。それぞれ好きなように楽しんでいます。



浅いところだと、底が見えるくらい水の透明度が高いです。魚も沢山見えていました。



そして再び駅からの眺め。München から 40 分のリゾート地。Starnbergersee でした。もし春から秋に München に行く機会があれば、是非遊びにいらしてください。